

## 令和7年12月定例会 一般質問 上田井良二議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。(各議員からの「質問」(問)に該当する部分を黄色マーキングしております。

### 「巨大地震発生時の市の備え等について」

○上田井良二 議長のお許しをいただきましたので、上田井良二、一般質問をさせていただきます。

9月は代表質問させていただきました。それ以来、国会のほうでも再編が大きくなされました。1990年10月に、当初は自民、自由、公明の3党連立から始まり、その後自由党が離脱、2003年から本格的な自公政権が確立しました。そして、2009年から2012年まで、一時的には下野しましたが、2012年以降、今年10月までの26年間続きました関係を解消し、与党という立場から野党となりましたが、これからも大衆と共に、の立党精神を忘れず、衆望にお応えしていくことに頑張っていきたいと考えております。

さて、昨年12月の議会質問の中で、聴覚障害に対する取組について行わせていただきました。それ以降、今年10月に市長からの積極的な取組等によりまして、香芝市軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成がスタートいたしました。このことに関しまして市長並びに健康福祉部、子ども家庭部長をはじめ関係者の皆様に、改めましてこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

このことを何よりも親の会の会長様が非常にホームページを見て喜んでおられます。対象者の個人負担が半減したこと、政令都市でもここまで踏み込んだ数字はないと、すごい数字であると。また、APD、聞き取り困難症にも言及し、相談してほしいと明文化されております。これも全国的に見てもAPDについての記載は初めてかもしれないというふうにも話を伺っております。これらもしっかりとまた一般質問をさせていただきながら、実行に向け移していきたいと思います。

さて、今回の質問につきまして、これも私以前より何回か質問させていただいている内容でございますが、一日も早く、市長のリーダーシップをいただき、行動に移していただきたいと願って質問させていただきます。

まず1点目、人口に対する各割合、巨大地震発生時、想定しておる地震の規模、死者数、負傷者数、避難者数についてお伺いいたしまして壇上での質問を終わります。よろしくお願いたします。

○危機管理監 第2次奈良県地震被害想定調査報告書によりますと、中央構造線断層帯地震の規模は最大震度7と想定されております。死者数が154人、負傷者数が842人、避難者数が2万2,244人と想定されております。また、中央防災会議防災対策実行会議南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループが公表する南海トラフ巨大地震最大クラスの地震にお

ける被害想定についてによりますと、南海トラフ巨大地震の規模は最大震度6強と想定されております。奈良県全体で死者数が1,600人、負傷者数が1万9,000人、避難者数が33万7,000人と想定されております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

震度6強と、昨夜ですかね、起きた地震とそんなにあまり変わりはないのかなと。たしか阪神大震災の折でも、奈良市では震度たしか4を記録したと思います。それに比べましてやっぱり大きい地震が今後来る予定であるというふうにも考えております。しっかりと役所のほうでも体制を取っていただき、勤務しているその職員の方々の現在の居住地については、どのような割合であって、市内外でお答えいただけますか。

○危機管理監 市内4割、市外が6割と把握しております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

以前はたしか市内の居住者が5割を超えておったというように聞いておりますけれども、やはり市内の方々の居住の割合が減ってくるということ、それだけ対処そのものが遅くなるというふうにも考えられることかと思えます。

それでは、災害発生時の市の職員の皆さんの出勤の基準の有無はどのような体制を取っておるのか、またどのような体制になるのか、そのあたりを教えてください。

○危機管理監 香芝市地域防災計画において基準を設けております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

それでは、災害発生時初動態勢確立想定人数、どれくらいの人数を確保して災害に対して対応していくのか。その確立の時間はいろんなことが考えられます。例えば、先ほどからお話ありましたように、災害といいましても、台風等で前日から分かってる分もありますし、今回私が一般質問させていただきます巨大地震、いきなり発生した場合の確立想定人数、確立時間、このあたりをちょっと教えてください。

○危機管理監 震度4の地震が発生した場合の災害警戒体制、警戒配備といいますが、として30名、3時間以内の参集を想定しております。しかし、実際は発災を認知した主要職員が到着後、速やかに関係機関への確認や情報収集等を始めるため、想定人員もそろわずとも香芝市地域防災計画に基づき対応しております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

30名で3時間、どれだけ人数がおっても必要ではないかなというふうに思いますし、これだけの体制を考えておられても、実際にやはり、先ほども聞きましたが、少なくとも香芝市内に住んでおられる役所の職員の方は4割住んでおられる。その方が全て初動態勢を取れるという場合でしたらいいですけども、例えば半減した場合、2割になったとき、これだけ

の30名の方々が集まる体制を取られるのか。本当にこのことに関しては、訓練をしてもどうなのかなという部分も考えられます。いろんな場合を想定をしながら、言い方は悪いですが、1回こっきりの一発勝負的なところもあるんですけども、やはり柔軟な体制の考え方を取っていただきたいなというふうに思います。

それでは、巨大地震が発生したときに一斉に、例えば市民の皆様が避難所へ殺到されることも考えられます。各避難所の設置時期、また開放される方法と体制についてどのように考えておられるか、お聞かせいただけますか。

**○危機管理監** 震度5弱の地震が発生した場合、災害対策基本法第23条の2の規定に基づき、災害対策本部を設置し、市内の被害情報の収集や集約、緊急輸送体制等の確保と同時に指定避難所開設の準備を行い、避難部避難所班により速やかに避難所の開設を行う予定でございます。

以上でございます。

**○上田井良二** ありがとうございます。

やはりどうしても、休日の場合なんか特にそうですけれども、学校が休んでおる。当然学校も閉まっておる。その中で、やはり開放するには職員の方が動いていかなくちやいけない。普通でしたら、車等で数分等で着くんであろうと思うんですけど、それが動かない場合も考えられます。通行もできない。自衛隊も来て道路も開放されない。その中での避難所、すぐには開けられないといったことはやはり考えられるのかなというふうにも思います。

それでは次に、備蓄品について、これも川畑議員のほうから質問ありましたけれども、備蓄品の利用できる対象者、これは市民の方で、対象者と市民の皆さんへの周知についてお聞きしたいと思います。そのあたりどうお考えでしょうか。

**○危機管理監** 備蓄品の利用対象者は特に限定しておりませんが、要配慮者を優先してもらうことを防災訓練や出前講座の場で周知しております。また、避難所における食物アレルギーを有する者の把握やアセスメントの実施、ハラール認証に配慮した食料の確保等に努めております。

以上でございます。

**○上田井良二** ありがとうございます。

そういったこれまでの質問でも何度かありました想定必要数、各主要品目、これ聞かせていただいたんで結構です。

その目標に対しましての主要品目、達成率、大体どれぐらいになっておるのでしょうか。何%ぐらい、これで確立されているという考えでしょうか。

**○危機管理監** 第2次奈良県地震被害想定調査報告書において、中央構造線断層帯地震が本市に最も被害が発生する地震になっており、想定避難者数は2万2,244人となっております。このことから、食料及び水については2万3,000食または本の備蓄を維持できるよう、毎年度、賞味期限が到来する備蓄品の更新や補充を行っております。賞味期限、大体食料は5年から7年、水につきましては7年から12年ということになっております。

なお、第5次香芝市総合計画中期基本計画では、災害用備蓄補充率として、想定避難者数に対する食料、水及び毛布の備蓄率及び指定避難所数に対するポータブル発電機備蓄率の平均を指標としており、令和6年度末現在の達成率は95%でございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

食べ物と水と2万3,000食。はっきり言うて、避難される方が2万数千人、1食しか今確保できていないというのが現実。これを市民の皆様のだれだけの方が知っておられるか。だから、自助が必要なんだということをしかりとまた今後ともPRをしていただきたいなというふうにも思います。

いろんな形で、学校とか、備蓄品の保管場所、学校等も聞きましたけれども、そのほかに詳細、備蓄品の保管場所を教えてくださいませんか。

○危機管理監 備蓄品は、指定避難所である小・中学校などのほか、市役所庁舎西側及び関屋北地内に設置している備蓄倉庫、香芝消防署の訓練棟などに保管しております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

あらゆるところで、今後も分散できるようにお願いしたいと思います。やはり一番いいのは、避難所である小・中学校を中心に蓄えていただくのが一番かなというにも思いますけども。

昨日も地震起きましたけども、やっぱり寒い時期でもあります。今までの東日本大震災、阪神・淡路大震災におきましても、寒い時期がなぜか多いようでございますけれども、暑い時期になりますと、食料品の配布にいたしましても、一つお弁当をとっても、今度は食中毒という考え方もありますし、熱中症の対応もしていかなくちゃいけない。そのあたりの避難所における暑さ、また寒さについて、対応する備品の状況についてどのように考えておられるか、教えてくださいませんか。

○危機管理監 一般避難所に指定している市内14小・中学校に、備品としてはスポットクーラー及び大型扇風機を各2台ずつ配備しております。また、電源となる発電機については、ガソリンタイプとカセットガスタイプを各2台ずつ配置しております。備蓄品としては、毛布を9,100枚、アルミ寝袋を8,600枚、寝袋を200枚補充しております。

本市の平時からの備蓄のみでは限界があることから、毛布やストーブなどの暖房器具を取り扱っている民間事業者5社などと物資の提供に関する協定を締結しており、発災後に発注を整える体制を構築しております。

設備としては、各中学校の体育館において、エアコンの主動力となるガスヒートポンプに3日間のガスを貯留する設備を備えております。自立運転が可能と確認しております。着火の電力は確保しております。

次に、指定避難所に指定している香芝市総合福祉センターは、停電時においても3日間の電力を確保できる体制を整備しております。

なお、以前より話題となっている使い捨て懐炉につきましては、自助、共助で備蓄できる物品であると考えるので、ローリングストックを活用した備蓄を市民に呼びかけております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

以前からしますと、夏の対応されている代替燃料的な、今までも入れていただいている中学校についても、プロパン等を利用して空調機を使える。また、今後、来年以降ですかね、小・中学校の体育館にもつけていただく分にもそういうものが設置されるということで、暑さ対策にもまあまあ何とかやっていただけるのかなというふうに思うんですけども、やはり体育館というのは非常に狭うございます。2万3,000からの避難者の方々を十数校の体育館だけで収容できるかという、なかなかそのあたりも難しい部分ではないかなと。やはり最近、私が小さい頃に比べましたらぜひともなってきたりしておりますので、そのあたり少しでも快適な環境づくりになるように、今後も準備をしていただけたらなというふうにも思うところでございます。

それでは、3つ目の応援協定についてなんですけれども、応援協定の現在の数と内容の主な協定をご報告いただけますか。

○危機管理監 令和7年12月9日時点で62件の協定を締結しております。主な内容は、人的支援や資機材を用いた復旧支援などに係る支援関係が29件、福祉・医療関係が9件、救助・消防関係が6件、避難所関係が3件、物資・食料関係が15件となっております。とい

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

思ったよりかなりの数、協定結んでいただいております。

今後の何か締結予定等ありましたら教えていただけませんか。

○危機管理監 3件の災害時応援協定の締結を調整中でございます。

内容といたしましては、保育関係、道路の復旧関係、物資・食料関係でございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

この応援協定というのは、連絡しなくても発災したらすぐ来ていただけるという体制だと思うんですけども、やはり、これも先ほど申しましたように、その業者さん、締結された従業員の方が被害に遭っておられないとも限りません。やはり数多くのこれからも締結を目指して、香芝市民の皆様のために動いていただける締結をどんどんやっていただけたらなと思いますので、そのあたりもよろしく願いいたします。

それでは、4つ目の移動式トレーラー等の配備について。

今、よく行政も大きなトレーラー等も配備されております。現在の配備状況、先ほどお話がありましたトイレカー2台というふう聞いておって、大きさも軽自動車型だと聞いております。駐車スペースは、まだこれからの納入なんで、まだまだかなというふうにも思う

んですけども、それらを納入された後、納入されたまま、そのまま置いておくのはどうかなと考えるので、**展示を兼ねて常備使用ということは考えられないでしょうか。そのあたりのお考えを教えてください。**

**○危機管理監** 常備使用とした場合、定期的な便の処理や便器や便器周辺等の清掃が必要となるなど、課題がございます。現在、具体的な活用方法は検討中ですが、まずは香芝ふれあいフェスタやかしばのしごと展など、本市のイベントの展示や活用を想定してございます。

以上でございます。

**○上田井良二** ありがとうございます。

私も今まで話しさせてもらいました。復旧にも行かせてもらいました。一番体調の悪くなるというのは、やはりトイレでの排便、排尿のほうになると思います。そのあたり、2台だけでも設置していただければ、市民の方もまあまあ対応できるのかなというふうに思います。

これからもそれぞれの配備について、あと次はといいますと、やはり夏はシャワーですかね。冬はお湯につかると、俗に言うお風呂、このあたりの体制も整えていただければありがたいかなというふうにも思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、その後、今2台配備してもらってますけども、今後の配備予定ありましたら教えてください。

**○危機管理監** 先ほど議員お述べのトイレカー2台につきましては、令和7年6月24日に契約を締結し、来年令和8年3月中に納車の予定でございます。

以上でございます。

**○上田井良二** ありがとうございます。

それでは続きまして、市所有地の災害対応の利用についてということで、現在香芝市の所有地をどのように防災活用しているか、そのあたり教えていただけますか。

**○危機管理監** 総合体育館、中央公民館、地域交流センター、6つの都市公園、郡ヶ池近隣公園、香芝市総合公園、城山児童公園、観正山近隣公園、高塚地区公園、旭ヶ丘近隣公園、それと各小・中学校等を指定一般避難所として、総合福祉センター及び中央公民館を指定福祉避難所として活用してございます。また、市役所及び指定避難所の一部等を備蓄倉庫として活用してございます。

以上でございます。

**○上田井良二** ありがとうございます。

大体思ったところかなというふうに思います。それで、建物が建っているところ以外、いわゆる空き地と更地についての活用予定はございますか。

**○危機管理監** 備蓄倉庫等を設置する場所として活用を検討をしている具体的な場所としては、関屋北に危機管理課が管理している旧水道施設のポンプ場跡地を想定しております。令和8年度、具体的な検討を開始する予定でございます。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

そうしましたら、次6番目、仮設住宅についてちょっとお聞きしたいと思います。

先ほど、更地について、空き地についてお聞きしましたけれども、**現在仮設住宅を香芝として設置する用地の確保はできているのでしょうか。そのあたり、どれぐらいあるのか想定されているのか、そのあたり教えていただけますか。**

○危機管理監 **候補地としては、本市の地域防災計画において、高山台グラウンド、観正山近隣公園、高塚地区公園、奈良県香芝健民運動場の4か所を想定してございます。**

**以上、4か所でございます。**

○上田井良二 ありがとうございます。

先ほど、公園、もう少しあったように思うんですけども、そしたらその4か所の想定で、**仮設住宅を合計何軒建てられると想定されているのでしょうか、そのあたりを教えてください。**

○危機管理監 **奈良県が実施する応急仮設住宅建設候補地調査では、建設可能な応急仮設住宅の戸数計算を行う上での簡易的な確認方法として、有効敷地面積を150平米で除した数と設定されております。これに基づいて算定を行うと、4か所で267戸となる計算になります。**

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

今聞いてびっくりしたんですけど、267戸、300弱、家族1世帯4人住むとして1,200人、避難するのが2万数千人、かなり足りないと思うんですけども、これもまた全然足りないと思いますんで、例えば奈良県なんか特にそうですけど、津波等の影響もないんで、大阪等がかなり津波の影響を受けられたときに、協力の要請があるのかなというふうにも考えますので、特に小さい香芝市でありますけれども、もう少し、できればもっと、2万数千人が入れる住宅を建てていただければというふうに思いますので、またそのあたりもよろしくお聞きしたいと思います。

それでは、最後に防災訓練等について、これ幾度もお話をさせていただいております。**市主体の市民参加の防災訓練、今後実施する予定はあるのでしょうか。そのあたりをお聞かせください。**

○危機管理監 **現在、市が主体で行う市民参加の防災訓練の具体的な計画はございません。自主防災組織が主体となった防災訓練の協力に注力してございます。近年では、市が主体となって香芝西中学校で複数の自治会と共に実施した防災訓練や、複数の自主防災組織が主体となって小学校で実施した防災訓練への企画、協力などの実績から、今後4つある中学校区ごとをめぐり、それぞれの地域での自主防災組織と連携した防災訓練の実施ができるよう検討したいと考えてございます。**

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

自主防災組織の皆さんと、また中学校単位での訓練を予定されているということなんですけど、訓練の対象者や地域の設定、これは訓練するに当たってどのように考えておられるか、教えていただけますか。

○危機管理監 検討案としましては、各中学校区で調整したいと考えております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

訓練をやるに当たって、私もお話しさせていただきました自衛隊、警察、消防、民間企業さん等、ほかの機関の訓練連携はそのあたり考えておられますか。

○危機管理監 本市では、災害対策本部設置訓練の実施に向けて準備を進めております。それに関連して、現在までに香芝市消防団、奈良県広域消防組合、香芝警察署と連携についての調整は終えたところでございます。今後は、可能であれば自衛隊や電気やガス事業者に対しても、参加していただけるよう協議を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

最後にお聞きしたいのが市長のお言葉でして、防災訓練の実施に当たって、幾度となく質問させていただきました。そのあたり、考えの変化はありましたでしょうか。そのあたりちょっとお答えいただければ助かります。

○市長 これまで、令和6年6月に私が就任させていただいてから、対外的なものとしたしましては、暴風雨や大地震発生時等における市立小・中学校、保育所、認定こども園及び幼稚園の対応について具体的に定めるなどしまして、児童・生徒や保護者の方にもお示しをして、庁内でもその体制を共有した上で、教職員も含めまして実際に対応することができるような研修等も実施をしてきたところでございます。

また、庁内におきましては、狭隘でございました危機管理課の執務場所を改善いたしまして、これまで総合防災地図や河川監視カメラ等の必要な設備を整備してまいりました。その上で、災害対策本部設置運営訓練を実施するように、危機管理監に対しまして指示をしているところでございます。

この災害対策本部設置運営訓練に当たりましては、形式的に終わるのではなくて、実際に災害が発生しましたら様々な問題が生じてくるものと考えられます。例えば災害対策本部等を担う職員にも家族がいますし、彼らも被災者となっている可能性がございます。そういった場合において、職員と同居する、例えば児童の預かりの体制をどうするのかといった課題につきましても、令和6年度中に体制を整備してまいりました。

その上で、また災害対策本部の運営といたしましては、避難情報を発出するシステムの操作について、危機管理監以下、危機管理監をはじめとして関係課室に所属する全ての職員が行うことができるように、体制を整備するように指示もしているところでございます。この上で、災害対策本部設置運営訓練を、こういった細かな問題も含めまして、いかに我々職員

が対応することができるかというところをきめ細かく訓練をすることができるように実施をしてまいりたいなと思っております。

もう既に報道発表の時期や方法、内容等、また同報系防災行政無線による放送やその他の媒体による情報発信の内容をあらかじめ想定するなどした準備も整えてございますので、関係機関の協力も得ながらしっかりと訓練を実施してまいりたいと考えてございます。

○上田井良二 ありがとうございます。

全く進んでないということではなく、1つであっても進んでいただいているというのは実感として感じております。しかしながら、やはり以前も出前講座をやっていただきました。その折に防災マップを配っていただいたんですけれども、いや、こんなあるんやとかね、言葉としては市民の皆様から、こんな初めて見たわという、以前におうちのほうにお配りさせていただいているにもかかわらず、これ持って帰っていいというふうなお話もございました。やはり市民の皆様の考えとか思いとしてはやっぱりそのあたりなのかなと。

やはり香芝市としても災害が少ないというのは、まあ起こったら起こったでいいやんというような考えの方もおられるかも分かんないですし、たとえ防災訓練をやったとしても、やはり皆様께서しっかりとご在宅、または勤務しておられる、100%おられる状態での避難訓練ですので、災害が起きたときに一気にさあ避難しようといったときに、どういう体制を取るのかというのは、やはりこれからの市がリーダーシップを発揮するものではないかなというふうにも思います。その一部として、自主防災組織の皆様と共に動くことによって、市民の皆様の方向性、よりよい方向へ動くことができるんじゃないかなというふうに思いますので、今後とも私自身、防災訓練やっただくまでしっかりとまた一般質問をやりたいと思いますので、今後ともよろしくお願い申し上げまして私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。